

## 平成21年度実践的研究助成対象研究一覧

代表研究者		研究課題	助成額 (単位：万円) ( )内累計	助成年度
1	小木曾 加奈子 (中部学院大学短期大学部講師・他計5名)	認知症ケアにおけるケア実践者のケア充実感と職務満足度の関係について —ICFの視点に基づく「認知症ケア内容尺度」の開発— <新規>	100	H21
2	陳 礼美 (関西学院大学人間福祉学部准教授・他計3名)	華僑高齢者のニーズ・アセスメント:横浜中華街とその近隣地域の高齢者福祉・ 介護サービスの在り方と街づくりの創造に関する研究 <新規>	94	H21
3	中間 浩一 (よみうりランド慶友病院リハビリテーション室室長・他計4名)	中等度～重度認知症高齢者における行動障害別認知リハビリテーション の有効性 <新規>	118	H21
4	長野 真弓 (九州大学健康科学センター学術協力研究員・他計4名)	運動・社会疫学研究の成果に基づく認知症予防プログラムの実践と評価 (太宰府研究) <新規>	120	H21
5	西垣 千春 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授・他計5名)	高齢者の生活困窮の原因分析に基づく予防対策の開発に関する研究 <新規>	116	H21
6	原田 晃樹 (立教大学コミュニティ福祉学部准教授・他計7名)	高齢社会において社会的企業が果たす新たな地域支え合いの可能性と その制度的・社会的基盤条件に関する研究 <新規>	130	H21
7	福山 和女 (ルーテル学院大学大学院教授・研究科長・他計3名)	認知症高齢者を介護する家族の役割変化を通じた、地域における 家族支援策のあり方に関する研究 <新規>	124	H21
8	松繁 卓哉 (国立保健医療科学院福祉サービス部研究員・他計3名)	地域包括ケアにおける在宅入院制度構築の可能性に関する実践的研究 <新規>	119	H21
9	小澤 芳子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授・他計7名)	認知症高齢者を介護する家族の強みを活かした支援の在り方に関する研究 <継続>	117 (226)	H21・20
10	児玉 直樹 (高崎健康福祉大学健康福祉学部准教授・他計3名)	積極的生活習慣改善による認知症予防に関する実践研究 <継続>	118 (236)	H21・20
11	高橋 紘士 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授・他計8名)	北九州市における「いのちをつなぐネットワーク」事業に配置されたコミュニティ ソーシャルワーカーの地域支援機能の評価および開発に関する研究 <継続>	50 (210)	H21・20
12	塚本 一郎 (明治大学経営学部教授・他計5名)	高齢者の就業機会創出とソーシャル・キャピタル形成のための 社会的企業育成に関する研究 <継続>	100 (210)	H21・20

13	築山 崇 (京都府立大学公共政策学部教授・他計6名)	世代間交流による相互扶助活動の活性化と福祉コミュニティ形成に関する 実証的研究 〈継続〉	120 (240)	H21・20
14	平塚 良子 (大分大学大学院福祉社会科学研究科教授・他計7名)	認知症高齢者の社会関係の交差分析による量的・質的評価研究 —「暮らしの行為者」の視点からの哲学的アプローチ— 〈継続〉	124 (244)	H21・20
	合 計	14 件	1,550	